

観光情報ふくさき

福崎町観光協会

〒679-2280兵庫県神崎郡福崎町南田原3116番地1(福崎町役場産業課内)
TEL 0790-22-0560(内線394) FAX 0790-22-5980

平成22年6月号

季節の花のご紹介

初夏になり、福崎町内では色とりどりの花が見頃の時期を迎えています。

この時期にしか見ることができない季節の花をご紹介します。



應聖寺・沙羅の花

6月中旬頃になると、應聖寺では毎朝のように沙羅の花が咲き始めます。しかし、その日の夕方には花は散ってしまいます。”諸行無常”の象徴として、沙羅の花が『平家物語』で詠われていることはあまりにも有名です。



関西花の寺第8番に選ばれている應聖寺には、沙羅以外にもたくさんの花や木が植えられており、季節を通じて様々な植物を楽しむことができます。



見頃：6月中旬～7月上旬

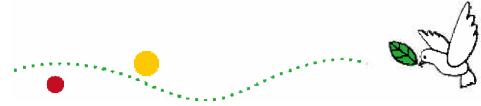
住所：福崎町高岡1912



本覚寺・サツキ



本覚寺では、6月の初めになると樹齢350年のサツキの大木が中庭で可憐に花を咲かせます。原種のサツキであるため、特に濃いピンク色の花が咲きます。



サツキは、本覚寺が開基した頃に植えられたと言われており、周囲が約15メートルもあります。県内でも有数の大きさで、福崎町の保存樹にも指定されています。

見頃：6月上旬～6月中旬

住所：福崎町福田786

ふくさき観光"豆"知識

「銀の馬車道」

明治9年（1876）に姫路（飾磨）から南但馬の生野鉾山まで、市川沿いに南北49キロに及ぶ「旧生野鉾山寮馬車道」（通称：銀の馬車道）が誕生しました。生野で産出された銀などの鉾物を現在の姫路港まで運ぶ一方、港に陸揚げされた鉾山機械を送りました。

建設を陣頭指揮したフランス人技師シスロイは、重い荷物を速く運ぶため、コースを選び、小石や玉砂利を何層も敷き詰め、路面を固める欧米の最新工法を採用しました。道幅は5メートル以上と広く、日本初の“産業用高速道路”とも言えます。

事業費は、民家の立ち退き料も含め、8万8千円余りで、今のお金にすると、35億円を越す計算になります。

福崎町内では、月見橋の東側（井ノ口区）から現在の国道312号線を通り、道路原標がある松岡百貨店の角を直角に曲がり、辻川の旧街道（北条街道）を進みます。途中、田尻区、西光寺区、上中島（中島区）を通り、姫路市へと繋がります。



銀の馬車道沿道にある大庄屋三木家住宅